8588121000
(568234)

取扱説明書

PX-6

プロフェッショナル・モニターシステム

安全上のご注意

このたびは、フォステクス Model PX-6 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用ください。なお、この取扱説明書には製品保証書が印刷されています。紛失しないよう大切に保管してください。

ここでは、安全に関する項目について記載しています。あなたや他の人々へ与える危害や、財産などへの損害を未然に防止するため、ここに記載されている事項をお守りいただくものです。ご使用の前に必ずお読みください。

⚠ 警告	この表示とともに記載されている事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	この表示とともに記載されている事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

さらに、各項目ごとに 「図記号」を使用しています。これらの「図記号」は、つぎのような意味を表わしていますので、意味をよくご理解の上お読みください。

図記号の例

△	△記号は、注意しなければならない内容(警告を含む)を示しています。 具体的な注意内容は△の中や近くに絵や文章で示しています。左図の場合は「感電注意」を示しています。
○	○記号は、禁止内容(してはならないこと)を示しています。具体的な禁止内容は ○の中や近くに絵や文章で示しています。左図の場合は「分解禁止」を示しています。
●	●記号は、強制内容(必ずすること)を示しています。 具体的な注意内容は●の中や近くに絵や文章で示しています。左図の場合は「一般的な指示」を示しています。

⚠ 警告

万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源コードを外してください。
煙が出なくなるのを確認して販売店、または弊社営業窓口へ修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですので、絶対にお止めください。

万一機器内部に水や異物が入った場合には、すぐに電源コードを外し、販売店または弊社営業窓口へご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

万一機器を落としたり、カバーを破損した場合には、電源コードを外し、販売店または弊社営業窓口へご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

機器本体に直接水のかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。特に屋外での使用(雨天、降雪時、海岸、水辺)にはご注意ください。

本機の分解・修理・改造は絶対にしないでください。また、カバーは絶対に外さないでください。火災・感電の原因となります。

本機の上に花瓶、コップや水などの入った容器、小さな金属物を置かないでください。水がこぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

本機をお手入れする場合には、安全のため電源コードを外してください。感電の原因となることがあります。

本機を移動する場合には、必ず電源コードを抜いて、外部機器の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

電源コードには、感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をアース接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行なってください。

油煙や湯気の当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

目　次

本機の概要

本機は業務用あるいは民生用のオーディオ機器を接続可能なモニターシステム（アンプ内蔵スピーカー）です。

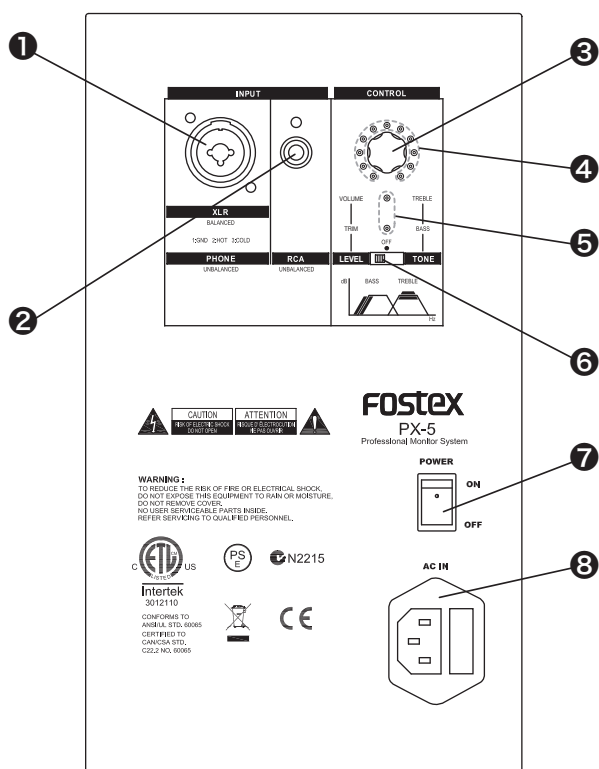
- 音量調整やトーンコントロール用にロータリーエンコーダーを使用し、精度の高いデジタル処理を実現。
- ネットワークに直線位相型フィルターを採用することにより、位相干渉を最小限に抑え、フルレンジスピーカーに匹敵する定位を実現。
- 440 ステップの高分解能の音量調整が可能。
- ± 3dB のツィーターレベル調整により、高域特性の補正が可能。
- 低域ロールオフ周波数を調整可能。ロールオフ周波数に連動するサブソニックフィルターが再生帯域外の不要な超低音ノイズをカット。
- サブウーハーとの組み合わせを可能にする 85Hz、36dB/oct のハイパスフィルターを搭載。
- サブウーハーとの組み合わせ時、サブウーハーの配置状態に応じて、0 度～ 180 度（9 度ステップ）の位相調整が可能。
- 電源オン時、自動で設定音量まで徐々に音量を上げていくフェードイン機能。
- 調整項目の値を不用意に変更されることを防ぐパラメーターロック機能。
- アラミド繊維を混合して強度を高めた振動板を採用した、高耐入力の 6.5 インチ・ウーハー。
- UFLC 振動板を採用し、安定した中高音を実現した 1 インチ・ソフトドームツィーター。
- 不要な振動を排除したキャビネット。
- 無駄な電力消費を抑えるスタンバイ機能。
- XLR、フォーン、RCA ピンの 3 タイプの入力コネクターを装備。

付属品

本機には以下の付属品が同梱されています。

- 電源コード x 1
- 取扱説明書（本書) x 1

お買い上げ後、付属品が揃っていることを確認してください。

各部の名称と機能

❶ [INPUT] 端子（XLR- フォーン・コンボジャック）

XLR コネクターまたは標準フォーンプラグのいずれかを接続することができるライン入力端子です。
XLR 入力はバランス入力、フォーンジャック入力はアンバランス入力です。
XLR コネクターの配線は、1 番：グラウンド、2 番：ホット（＋）、3 番：コールド（ー）です。

> ＜注意＞：[INPUT] 端子の RCA ピンジャックとコンボジャックを同時に使用することはできません。
> RCA ピンジャックにプラグを接続しているときは、標準フォーンジャックからの入力信号を受け付けません。
> また、RCA ピンジャックと XLR コネクターの両方に接続すると、入力信号がミックスされてしまいます。

❷ [INPUT] 端子（RCA ピンジャック）

RCA ピンプラグを接続するためのアンバランス・ライン入力端子です。

> ＜注意＞：[INPUT] 端子の RCA ピンジャックとコンボジャックを同時に使用することはできません。
> RCA ピンジャックにプラグを接続しているときは、標準フォーンジャックからの入力信号を受け付けません。
> また、RCA ピンジャックと XLR コネクターの両方に接続すると、入力信号がミックスされてしまいます。

❸ [CONTROL] ノブ

音量調整やトーンコントロールなどを行うときに使います。
このノブを押すと、モード選択スイッチで選択している調整モード（LEVEL または TONE）内の調整項目が切り替わります。
このノブを回して、調整項目の値を調節します。
このノブを長押しすると、すべての調整項目の現在の値が本機のメモリーに保存されます。
詳しくは「音量調整とトーンコントロール」（6~7 ページ）をご覧ください。
また本機をサブウーハーと組み合わせて使う際のハイパスフィルター設定を行うときにも、このノブを使用します。詳しくは「本機をサブウーハーと組み合わせて使う」（9~11 ページ）をご覧ください。

❹レベルインジケーター

選択中の調整項目の現在値に応じて、該当レベルインジケーターが点灯します。隣り合う 2 つのインジケーターが点灯しているときは、これらのインジケーターの真ん中の値であることを示します。

各部の名称と機能

❺ステータスインジケーター

LEVEL モードで VOLUME 項目を選択しているとき、あるいは TONE モードで TREBLE 項目を選択しているとき、上側のインジケーターが点灯または点滅します。

LEVEL モードで TRIM 項目を選択しているとき、あるいは TONE モードで BASS 項目を選択しているとき、下側のインジケーターが点灯または点滅します。

すべての調整項目の現在の設定値が本機に保存されている値と同じときは点灯表示になります。いずれかの調整項目の値を変更すると、点滅表示になります。

詳しくは「音量調整とトーンコントロール」（6~7 ページ）をご覧ください。

また本機をサブウーハーと組み合わせて使う際にハイパスフィルターを有効にしたときのインジケーター表示については、「本機をサブウーハーと組み合わせて使う」（9~11 ページ）をご覧ください。

❻モード選択スイッチ

調整モード（LEVEL または TONE）を切り替えます。

LEVEL ポジションでは LEVEL モードになり、[CONTROL] ノブを使って音量を調整します。

TONE ポジションでは TONE モードになり、[CONTROL] ノブを使ってトーンコントロールを行います。

中央の OFF ポジションのときは、[CONTROL] ノブを使って値を変更することができません。

詳しくは「音量調整とトーンコントロール」（6~7 ページ）をご覧ください。

❼ [POWER] ボタン

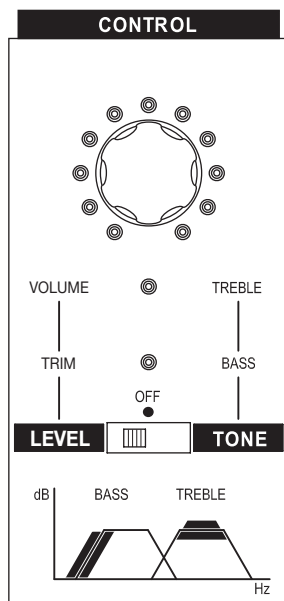
電源のオン／オフを行います。

> ＜ Memo ＞：本機は、電源をオン時にオートフェードイン機能が働き、設定された音量レベルまで徐々にボリュームが上がります。

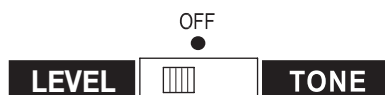
❽ [AC IN] 端子

付属の電源コードを接続します。

音量調整とトーンコントロール

[CONTROL] ノブを使って音量調整やトーンコントロールを行います。

音量を調整する

本機が LEVEL モードのとき、[CONTROL] ノブを使って音量を調整することができます。
LEVEL モードには、おおまかな調整を行う VOLUME 項目と微調整を行う TRIM 項目があります。これらの調整項目の組み合わせにより、440 ステップの高精度の音量調整を行うことができます。

1)モード選択スイッチを LEVEL ポジションにします。

VOLUME（上）側のステータスインジケーターが点灯します。
この状態でおおまかな音量を調整を行うことができます。

2）[CONTROL] ノブを回しておおまかな音量調整を行います。

＜ Memo ＞：[CONTROL] ノブを回すことにより本機が保存していた値を変えると、ステータスインジケーターが点滅に変わります。

必要に応じて、以下の手順 3）～ 4）で音量の微調整を行います。

3）[CONTROL] ノブを押します。

TRIM（下）側のステータスインジケーターが点灯または点滅します。
この状態で音量を微調整することができます。

4）[CONTROL] ノブを回して音量を微調整します。

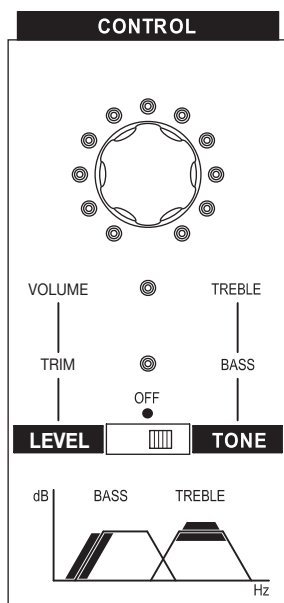
＜ Memo ＞：**TRIM リセット機能**
上記手順 2）で本機に保存されている VOLUME 値を変更した場合、TRIM 値は自動的にセンター位置にリセットされます。
この機能により、VOLUME 調整と TRIM 調整の組み合わせによる高分解能のレベル調整を自然に行うことができます。

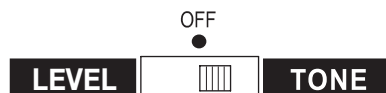
5）音量の調整を終えたら、[CONTROL] ノブを押したままにして、ステータスインジケーターが点滅から点灯に変わったら離します。
調整値が本機に保存されます。

＜ Memo ＞：TRIM 調整後に上記の保存操作を行った場合でも、VOLUME 側のインジケーターが点灯になります。これは、保存後に音量調整をやり直す場合に、VOLUME の調整から始められるようにするためです。

＜ Memo ＞：上記の手順 5）では､､音量調整とトーンコントロールのすべての調整項目の値が保存されます。

音量調整とトーンコントロール

トーンコントロールを行う

本機が TONE モードのとき、[CONTROL] ノブを使ってトーンコントロールを行うことができます。
TONE モードには、ツイーターレベル調整により高域特性を補正する TREBLE 項目と、低域ロールオフ周波数の調整により低域特性を補正する BASS 項目があります。

1）モード選択スイッチを TONE ポジションにします。

TREBLE（上）側のステータスインジケーターが点灯します。
この状態で高域特性の補正を行うことができます。

2）[CONTROL] ノブを回して高域特性を補正します。

< Memo >：本機はツイーターのレベルを変えることによって高域特性を補正します。補正範囲は ±3dB です。

< Memo >：[CONTROL] ノブを回すことにより本機が保存していた値を変えると、ステータスインジケーターが点滅に変わります。

3）[CONTROL] ノブを押します。

BASS（下）側のステータスインジケーターが点灯または点滅します。
この状態で低域特性の補正を行うことができます。

4）[CONTROL] ノブを回して低域特性を補正します。

< Memo >：本機は低音域のロールオフ周波数を調整することによって低域特性を補正します。

5）5）トーンコントロールを終えたら、[CONTROL] ノブを押したままにして、ステータスインジケーターが点滅から点灯に変わったら離します。
調整値が本機に保存されます。

< Memo >：上記の手順 5）では、音量調整とトーンコントロールのすべての調整項目の値が保存されます。

スタンバイ機能

オートスタンバイモード

モード選択スイッチが LEVEL または TONE ポジションのとき、オートスタンバイモードが有効になります。
オートスタンバイモードでは、本機に入力信号のない状態が約 4 時間続くと、自動的に消費電力を下げるスタンバイ状態になります。

＜ Memo ＞：入力される機器のノイズレベルや接続環境によっては、オートスタンバイ機能が有効に働かないことがあります。

スタンバイ状態では、フロントパネルの「FOSTEX」ロゴが点滅します。

＜ Memo ＞：モード選択スイッチが OFF ポジションのときは、オートスタンバイモードが無効になります。

手動でスタンバイ状態にする

モード選択スイッチが OFF ポジションのときに [CONTROL] ノブを長押しすると、本機がスタンバイ状態になります。
一定時間スタジオを離れる場合など、強制的にスタンバイ状態にすることができます。

スタンバイ状態を解除する

スタンバイ状態中に [CONTROL] ノブを押すと、スタンバイ状態が解除されて通常動作に戻ります。

パラメーターロック機能

モード選択スイッチを OFF ポジションにするとパラメーターロック機能がオンになり、本機が以下の状態になります。
●調整項目の値を変更できません。
●オートスタンバイモードが無効になります。

本機をサブウーハーと組み合わせて使う

本機は位相調整が可能なハイパスフィルターを搭載していますので、サブウーハーと組み合わせて使う場合も、最適な状態で使用することができます。
ハイパスフィルターのカットオフ周波数は 85Hz（固定）で、スロープは 36dB/oct です。位相調整範囲は 0 度〜 180 度（20 ステップ）で、サブウーハーと本機の位相を合わせせることができます。
この調整により、サブウーハーの位置に関わらず、クロスオーバー周波数付近をフラットで自然な繋がりにすることができます。

＜ Memo ＞:ハイパスフィルターを有効にしたときは、本機の BASS 調整（低域特性補正）は無効になります。

サブウーハーの準備

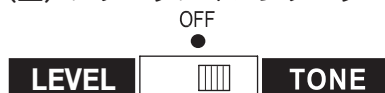
●サブウーハーのカットオフ周波数を 85Hz 付近に設定します。
サブウーハーの接続や設定については、サブウーハーの取扱説明書をご覧ください。

ハイパスフィルターを有効にする

本機をサブウーハーと組み合わせて使う場合、本機のハイパスフィルターを有効することによって 85Hz 以下をカットします。

1) モード選択スイッチを TONE ポジションにします。
TREBLE（上）ステータスインジケーターが点灯します。

OFF

LEVEL ● TONE

2) [CONTROL] ノブを押します。
BASS（下）側のステータスインジケーターが点灯します。

3) [CONTROL] ノブを 3 秒以上押し続けます。
BASS（下）側のステータスインジケーターが消灯します。
この状態でハイパスフィルターが有効になります。

＜ Memo ＞：TONE モード時で、上下両方のステータスインジケーターが消灯しているとき、ハイパスフィルターが有効です。いずれかのステータスインジケーターが点灯しているときは、ハイパスフィルターは無効です。

ハイパスフィルターの位相調整

1）上記 3）の状態のとき、[CONTROL] ノブを回して、ハイパスフィルターの位相を調整します。

PX-6 とサブウーハーは、リスニングポイントから同じ距離に配置するのが理想的で、この場合は位相の調整は不要（位相調整：0 度）です。

以下に具体例を挙げて説明します。これらの例では、2.1 チャンネルの L、R 用、5.1 チャンネルの L、R、C、LS、RS 用に PX-6 を使います。

図 1 と図 2 は、リスニングポジションから PX-6 までの距離とサブウーハーまでの距離が同じですので、位相調整は不要です。

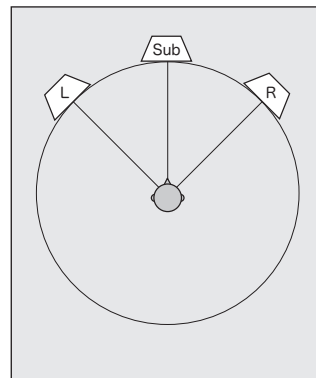



図 1
理想的なサブウーハー配置
（2.1 チャンネル）

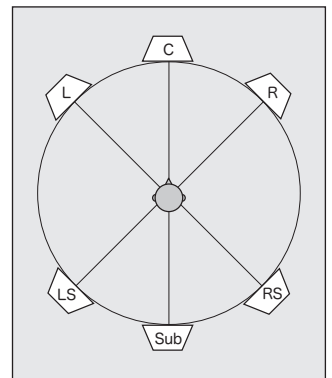



図 2
理想的なサブウーハー配置
（5.1 チャンネル）

本機をサブウーハーと組み合わせて使う

リスニングポイントからサブウーハー、PX-6 までの距離が異なる場合、距離の差に応じて位相を調整する必要があります。

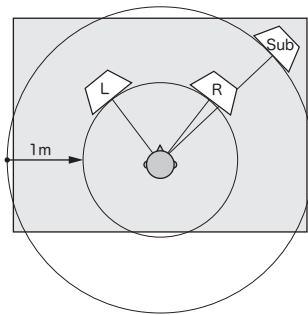



図 3
サブウーハーを奥に配置
（2.1 チャンネル）

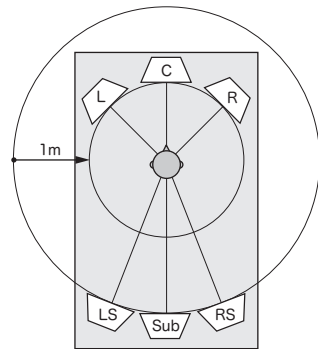



図 4
フロントとリアの距離が異なり、サブウーハーは LS、RS と同心円上に配置
（5.1 チャンネル）

図 3 の例では距離の差が 1 mです。
右の「表 1：位相調整表」で距離の差 1m（=100cm）の場合を見ると、位相調整が 90 度で、レベルインジケーターの目盛りが「10」ですので、[CONTROL] ノブを回して、レベルインジケーターの真上のインジケーターが点灯するように調節します。

仮に図 3 のサブウーハーを 10cm 近づけたとすると、距離の差が 90cm になりますので、表からわかるように、位相調整が 81 度で、レベルインジケーターの目盛りが「9」になります。この場合は、レベルインジケーターの真上とその左隣のインジケーターが点灯するように調節します。

図 4 の例では、リア側の LS、RS はサブウーハーとは位相差がありませんので、位相の調整は不要（位相調整：0 度）です。フロント側の L、C、R は距離の差が 1m ですので、位相調整が 90 度で、レベルインジケーター目盛りが「10」になります。

< Memo >：[CONTROL] ノブを回すことにより本機が保存していた値を変えると、ステータスインジケーターが点滅します。

2) 位相調整を終えたら、[CONTROL] ノブを押したままにして、ステータスインジケーターが点滅から消灯に変わったら離します。
調整値が本機に保存されます。

レベルインジケーター目盛り

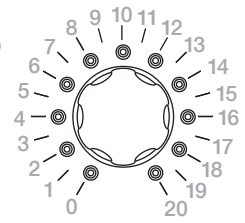



表 1：位相調整表

距離の差（cm）	位相調整（度）	レベルインジケーター目盛り
0	0	0
10	9	1
20	18	2
30	27	3
40	36	4
50	45	5
60	54	6
70	63	7
80	72	8
90	81	9
100	90	10
110	99	11
120	108	12
130	117	13
140	126	14
150	135	15
160	144	16
170	153	17
180	162	18
190	171	19
200	180	20

本機をサブウーハーと組み合わせて使う

本機の位相調整後のサブウーハーの調整

●オシレーターを使って 85Hz の正弦波を入力してモニターします。位相が逆に感じる場合は、サブウーハーの位相を 180 度切り替えます。

●音楽を再生し、低音域（85Hz 付近）の音圧がフラットになるように、サブウーハーの音量を調節します。

＜ Memo ＞：サブウーハー側の調整については、サブウーハーの取扱説明書をご覧ください。

ハイパスフィルターを無効にする

サブウーハーと組み合わせて使う設定になっている PX-6 を通常の単独使用に戻す場合、ハイパスフィルターを無効にして、BASS 調整（低域特性補正）機能を有効にします。

1) モード選択スイッチを TONE ポジションにします。
TREBLE（上）ステータスインジケーターが点灯します。

2) [CONTROL] ノブを押します。
上下両方のステータスインジケーターが消灯します。

3) [CONTROL] ノブを 3 秒以上押し続けます。
BASS（下）側のステータスインジケーターが点灯します。
この状態でハイパスフィルターが無効になり、BASS 調整機能が有効になります。

仕様

スピーカー部

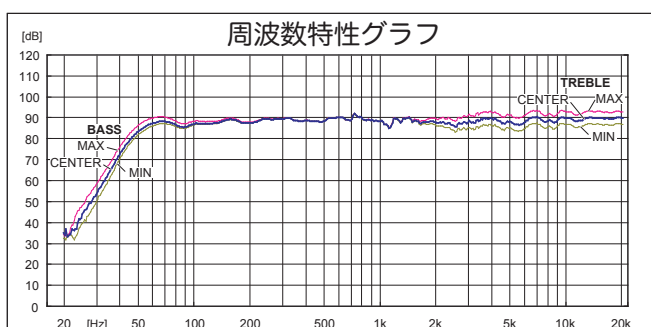
エンクロージャー方式
　２ウェイバスレフ方式
内蔵ユニット
　ツィーター：1 インチ・ソフトドームツイーター
　ウーハー：アラミド繊維混合
　　　　　6.5 インチ・ダイアフラム
再生周波数特性：48Hz ～ 20kHz

アンプ部

定格出力
　低域：50W
　高域：28W
入力
　XLR-3-31 コネクター（バランス）
　　最大入力レベル：＋ 24dBu
　　入力インピーダンス：20kΩ以上
　標準フォーンジャック（アンバランス）
　　最大入力レベル：＋ 10dBV
　　入力インピーダンス：20kΩ以上
　RCA ピンジャック（アンバランス）
　　最大入力レベル：＋ 10dBV
　　入力インピーダンス：20kΩ以上
　＊ XLR-3-31 コネクターと標準フォーンジャックは兼用のコンボジャックとして一体化。
S/N 比：96dB
歪率（THD）：0.02%
クロスオーバー周波数：2kHz
サブソニックフィルター：48Hz

一般

外形寸法：
　　335（高さ）x 208（幅）x 253（奥行き）mm
質量：6.95kg
電源：AC 100V（50/60Hz）
消費電力：65W（スタンバイモード時：0.5W 以下）

＊製品の規格や外観等は、改良のため将来予告無く変更することがあります。

アフターサービスについて

- この説明書裏には、保証書が印刷されています。お買い上げの際に、販売店で所定の事項を記入してお渡しします。記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から 1 年です。期間中は保証書の規定に基づいて、当社サービス部門が修理いたします。詳細については、説明書裏に印刷されている「無償修理規定」をお読みください。
- 保証期間を過ぎてしまった場合、または保証書を紛失した場合の修理については、お買い上げの販売店、または当社営業窓口 / サービス部門へご相談ください。
- 保証期間を過ぎてしまった場合でも、修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料修理いたします。
- この製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) の最低保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。
- 当社営業窓口、およびサービス部門の連絡先は、以下のようになっています。お気軽にご相談ください。

国内営業窓口
☎ 042-545-6111、FAX. 042-546-6067
土日・祝日および当社指定休日を除く
AM 10:00 ～ 12:00、PM 1:00 ～ 5:00
サービス部門
☎ 042-546-3151、FAX. 042-546-3198
土日・祝日および当社指定休日を除く
AM 10:00 ～ 12:00、PM 1:00 ～ 5:00

無償修理規定について

1. 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、
   (1) 製品と保証書をご持参の上、本製品の取扱代理店、または弊社サービス部門へ修理をご依頼ください。
   (2) 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご贈答品などで所定事項の記入がない場合、電源周波数の異なる地域へのご転居の場合には、弊社サービス部門へご相談ください。
4. つぎの場合には、保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
   (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
   (3) 火災・地震・水害・落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷。
   (5) 異常磨耗、異常損傷を除き、自然消耗と見なされた消耗部品による故障および損傷。
   (6) 特殊業務、または特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷。
   (7) 電源周波数の変更、およびメンテナンス。
   (8) 保証書のご提示がない場合。
   (9) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、取り扱い店 (印) の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
5. 保証書は、日本国内のみにおいて有効です。
   This guarantee is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしません。紛失しないよう大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証 期間経過後の修理などについてご不明な場合は、本製品の取り扱い店、または弊社サービス部門へお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、前述の「アフターサービスについて」をご覧ください。

FOSTEX®

保　証　書

このたびフォステクス製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。厳格な検査を経てお手元にお届けしておりますが、お客様の正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証書記載内容により無償で修理いたします。
本書をご提示の上、取扱販売店または当社営業窓口へ修理をご依頼ください。

保　証　期　間　1　年	
機種名 および 型番	PX-6
機番	

	ご住所	〒 ☎
	ご氏名	
お買い上げ日		平成　年　月　日
販売店	店名 住所 電話	☎　（社印）

フォステクス　カンパニー
〒196-0024　東京都昭島市宮沢町512
☎ 042−545−6111（代）

・ご販売店様へのお願い　必ず太枠内の所定事項を記入捺印の上、お客様にお渡しください。
・お客様へのお願い　保証期間内に無料修理を受ける場合、太枠内の記載がないときには、「領収書」または「納品書」などといっしょに本書を提出してください。

© PRINTED IN CHINA November 2013 8588121000　568234